NPO法人プレイルームゆづり葉の家　子どもクラブ

Moriya ナビ

地域感謝デーの端材で作品が出来ました!!

多摩市永山にある「プレイルームゆづり葉の家子どもクラブ」は知的障がい者の学童クラブです。そのクラブで工作を教えていらっしゃるお客様のT様は、昨年春の弊社の「地域感謝デー」に来場され、端材をお持ち帰りになりました。それを使ってお子さんたちがいろいろな作品を製作されたとのこと。先日、作品の写真を会社に持って来てくださいました。

それぞれ個性的でカラフルな乗り物……楽しく製作している様子が目に浮かびます。T様は「子どもたちは、直接木材に触れることで発想が広がったようです。今後も続けたいです」とおっしゃっていました。

端材がお役にたてて、私たちもうれしい限りです。

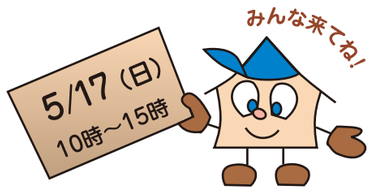
NPO法人
プレイルームゆづり葉の家子どもクラブ
東京都多摩市永山4−2−4−106
042-400-0134

掲示板

「地域感謝デー」のお知らせ

包丁研ぎ／まな板削り／端材／焼きそば

地域の皆様への感謝の気持ちを込めて、
今年も地域感謝デーを開催します。



Moriya ひと紹介

宮下竜一さん（土地家屋調査士）

土地や建物の登記など デリケートなことも任せて安心

聞き慣れない職業名ですが、土地・建物の計測・設計並びに不動産登記が仕事です。国家試験に合格して資格取得し、20年ほど前に開業。仕事が軌道に乗るまでは苦労もありましたが、初仕事は守屋工務店からの依頼だったそうです。

仕事柄、土地の境界線の問題や役所関係の事項など、デリケートなことも多い中、常に冷静に対処されるので、信頼して任せることができます。「守屋さんの丁寧な仕事ぶりを実感しますね。お客様からあたたかい言葉で感謝されると、この仕事を選んで良かったと思います」と話します。

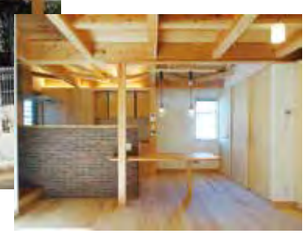
普段はもの静かですが、イベントなどでは冗談も飛び出し、ノリのいい陽気な一面も見せます。家族思いの宮下さんの悩みは「最近娘二人が相手にしてくれない…」だとか。

Moriya通信 ー住まいの玉手箱ー No.44 2015.5
発行：(株)守屋工務店　Moriya通信編集部
〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2
TEL 042-322-5438　FAX 042-325-1011
E-mail　moriya-koumuten@bd.wakwak.com

Moriya通信 No.44 2015.5

ー 住まいの玉手箱 ー

練馬区M邸



p4-5 木の香りいっぱい! ぬくもりのある家
p2 住まいの玉手箱
p3 道具の話「小刀（こがたな）」
p6-7 みんなのコラム 心に残ったお弁当
ホーミー教室
p8 守屋ナビ「NPO法人プレイルームゆづり葉の家子どもクラブ」
掲示板　Moriya 人・紹介

(株)守屋工務店 〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2　TEL042-322-5438
http:// www.moriyakoumuten.com

住まいの玉手箱

お手入れ

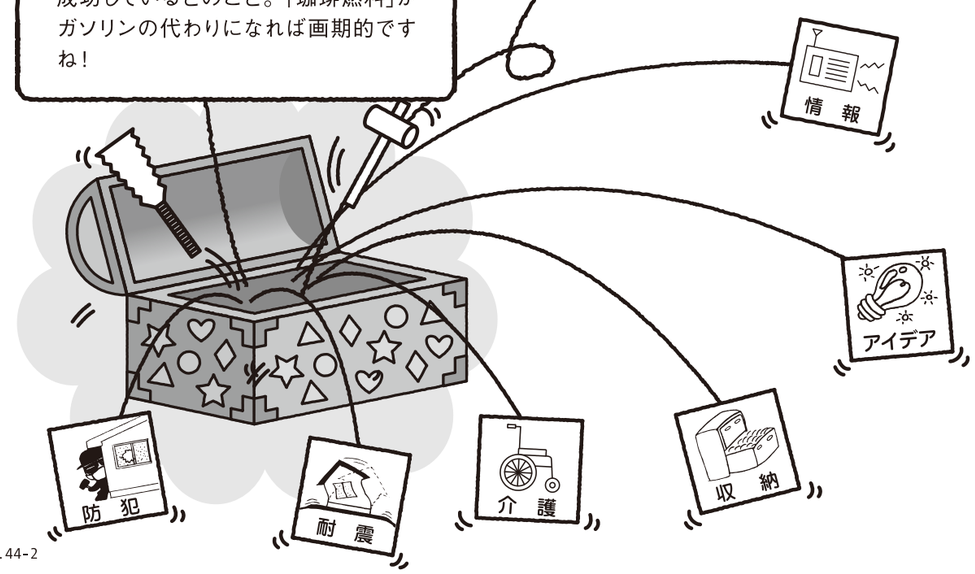
使用済みの珈琲の粉の活用法

珈琲の粉には消臭作用があるので、下駄箱や冷蔵庫の消臭剤になり、庭に蒔くことで殺虫剤・猫避けの効果もあります。また油分を含むため、袋の中に珈琲粉を入れて針山を作ると針が錆びず、ガーゼに包んで靴や金属を磨くとワックスと同じ効果があると言われています。その他犬用シャンプーとして利用したり、20分程煮て染料としても使えます。毎日珈琲を飲む方は、使用後の粉で試してみませんか。
また海外では現在、車の燃料にリサイクルする研究も進んでおり、実験にも成功しているとのこと。「珈琲燃料」がガソリンの代わりになれば画期的ですね！

情　報

省エネ住宅ポイント制度が始まりました！

今回の制度では、前回の窓断熱及び建物の断熱改修と並んで「設備エコ改修」が加わりました。例えば、浴室をユニットバスに変えたい方…ユニットバスと給湯器を対象の製品に取替えることで、約60,000ポイント。その際に浴室の入口幅を広くすることでさらに30,000ポイント、手摺を設置することで6,000ポイントが加算されます。さらに節水トイレへの交換で24,000ポイント、節水タイプの水栓なども対象になります。
国の予算の関係で今年の9月頃にはポイント申請が締切になると言われています。リフォームを計画されている方はご相談ください。



道具の話

小刀（こがたな）

其の十

住まいづくりに関連する「道具」についてご紹介します。
「道具は命」という言葉がありますが、職人は仕事によって様々な道具を使います。「道具の手入れも仕事のうち」などとも言い、昔からいろいろな道具が大切にされてきました。時代と共に消えていった道具や、姿、形が変わっていった道具もあります。
さあ、今回は「小刀」をご紹介します。

小刀といっても日本刀の脇差ではない。基本的な形は、手で握りこむことが出来る幅広の鉄板の先に5㎝程の刃が斜めについている。写真にある刃が鋭利なものが「刳（く）り小刀」で、刃と持ち手が一体となった共柄のものが「切り出し小刀」である。小刀は大工や建具職に限らず木を扱う工匠に必携の道具であるが、家庭の手近なところに置いておくと何かと役に立つ道具でもある。板に丸い穴を開けたり、曲線・曲面の彫りものをする時には欠かす事のできないものである。鋭く細身になっている刳り小刀は細工のこまやかさに対応する為に、刃の背を薄く削いでおり、狭い局面を削る時にさまたげにならないよう工夫されている。柄・鞘には朴の木を使うことが多く、自分で作ると一層愛着が増すものである。

肥後守

誰もが知っている小刀の一つに「肥後守」がある。西洋の折りたたみナイフをヒントに得た日本独特の携帯用小刀で、その発祥は明治にまでさかのぼれるかどうか。ひと昔前、日本の子供たちは肥後守で鉛筆を削れるようになる事が小学校入学の準備。ほとんどの子供たちが筆箱に入れて学校に通った。今では学校で肥後守を使って鉛筆を削るものなら先生は飛びあがって生徒を叱りつけたと聞く。なんとも難しい時代になってしまったようだ。

写真右から、切り出し小刀（正芳）、鮎型の切り出し（助丸）、刳り小刀（清忠）

小刀で鉛筆を削る事が出来ない子供が増えているのが実状のようで、今度職場体験に来る中学生に小刀を使って鉛筆が削れるか確かめてみようと思う。

新築

練馬区M邸

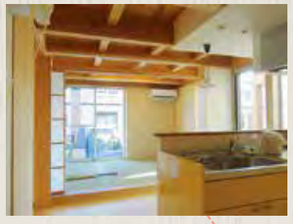
木の香りいっぱい！ ぬくもりのある家

地元の無垢の木をふんだんに使い、耐震はもちろん環境にも優しい木のぬくもりに包まれた二世帯住宅が加藤建築設計事務所の設計により完成しました。二世帯は完全分離型で、お互いに一階から小屋裏までを縦に分けることでそれぞれに小屋裏収納や吹抜けを設けてあります。

外壁は一部モルタル吹付け、一部はガルバリウム鋼板の平葺き

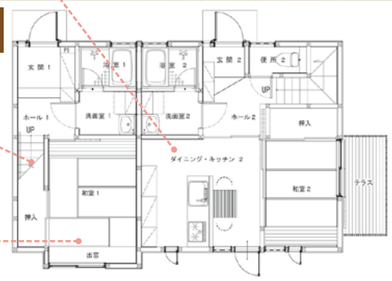
壁に受け材を埋め込んで金物のないすっきりとした階段手摺。

和室の畳は、「い草」ではなく「和紙」で出来ています。

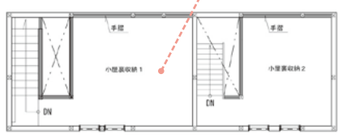


小上がりの和室は障子を開けると開放的に。

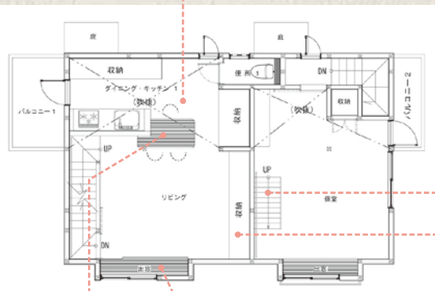
1F



小屋裏



2F

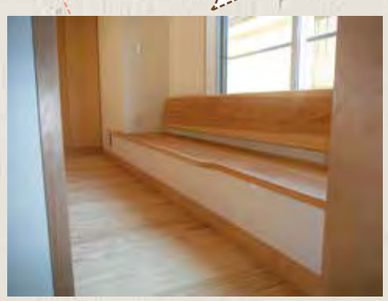


小屋裏への階段は物入れに。移動することも出来ます。

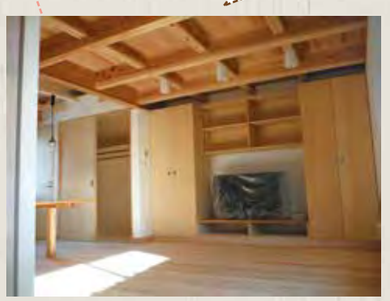
思い出の古材を束に使用しました。

キッチンの上は吹抜けになっています。

キッチン・柱と連続しているタモ材のダイニングテーブル。



出窓兼腰掛け。背もたれは、杉の一枚板です。



造り付けの TV ラック

設計者コメント

加藤建築設計事務所
KATO ARCHITECT'S OFFICE
加藤宏幸

◎地元の木を使う。木材は西川材、材木の調達・プレカット・建具の製作は飯能にて行いました。
◎環境負荷の少ない家、快適に住める家。2020年より義務化される省エネ基準を先取りし、低炭素住宅の仕様に基づき、断熱性能・一次消費エネルギーの性能を満たしています。
◎安心して住める家。耐震等級は、許容応力度計算により耐震等級2を確保しています。
次の時代を見据えた基本性能を決定しました。
無垢の木をふんだんに表して使っているので、住み続けることにより部材がエイジングされ、住宅としての年輪が刻まれてゆきます。

お客様の声

M邸の奥様

木のぬくもりは家族のぬくもり

主人の亡き父との思い出がたくさん詰まった実家を壊し、完全分離二世帯を新築する事は一生に一度の大決断でした。色々な展示場を周り、こだわりの強い私の意見を最優先していただき、設計士さんのこだわりのあたたかな木のぬくもりは、住み始めた冬の季節を忘れてしまう程でした。とにかく住みやすい！！
「木の良いにおいがする♡」「ログハウスに遊びにきたみたい！！」訪問してくれる仲間の嬉しい言葉を聞く度に満足感いっぱいです。
床暖房はもう少し考えて設置すれば良かったと思いますが、設計士さん、工務店さんに恵まれた事に感謝です。ありがとうございました。

みんなのコラム

心に残ったお弁当

信頼度No.1
［社長］
守屋辰彦

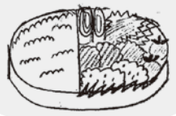
息子が小学校のころの運動会のお弁当はとても楽しみでした。息子の仲良しの友達の家族といっしょに大勢でワイワイと食べるお弁当は大好きでした。食べている最中にも、別の友達がやってきて、モグモグしながら走って遊びに行ってしまったり、又、戻ってきて食べ始めたり。お行儀悪いとその時は叱りましたが、今では、そんな事も良き思い出です。

熱血教師
［会長］
守屋辰雄

小学４年生の時、学校から５キロ程離れた西山に学校で授業中に炊くストーブの薪集めに生徒全員で行った時のおふくろが作ってくれた大きい握り飯です。中に大きな梅干しが入って居り、周りは味噌をつけて、こんがりと焼いてある。塩辛いたくあん漬けと、おかず入れの中の味噌と青い採りたての胡瓜１本。食べながら山の上から眺めた諏訪盆地の小学校の建物と広いグランドでした。

オールマイティママ
［経理］
守屋祥子

今は子どもたちにお弁当を作る母の立場ですが、独身の頃は毎朝母にお弁当を作ってもらいました。母が入院して妹の分も私が作っていた時は、母の有難みを強く感じました。そんな母の味をちゃんと受け継いでいるかな？



輝く女性の感性
［設計］
井上佐智子

子どもたちが小・中学生の時に私がある試験を受けました。その朝、私に内緒で子どもたちが作ってくれたお弁当です。試験場で開けてみたらオムライスにケチャップで「合格」と描いたような形跡がありました。（フタの重みでグチャグチャに……）

熱意とこだわりの仕事師
［大工・設計監理］
立花慶次

おかあさんのお弁当

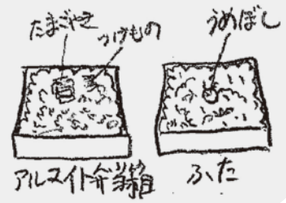
好きなおかずをリクエストしていれてもらっていました。鶏の唐揚げ・ウインナー・玉子焼き。砂糖いっぱいの甘い玉子焼きで“甘焼き”とも呼んでいました。今、自分が作る玉子焼きも砂糖いっぱいで妻が食べると驚かれる程です。

設計の匠
［設計課長］
鈴木浩司

高校生の時、お昼はお弁当を持って行きました。いちばん定番だったのは目玉焼きとミックスベジタブルとウインナー弁当。毎日食べても全然、飽きなくて大好きでした。

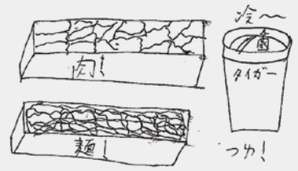
仕事の魔術師
［営業主任］
今井治彦

終戦後、食物事情が悪かった頃の中学生時代のお弁当です。アルマイトの四角い弁当箱に、おながかすかない様にと、ふたにもごはんをいっぱい詰めてくれた親心の弁当。おかずは毎日、うめぼし、つけもの、たまごやき。ほんとうに感謝して、おいしくいただきました。



希望の星
［大工見習い］
山口雄己

夏の暑い時期我が家では、父も僕も白いご飯が食べづらくなり、昼飯を残しがちになっていました。そんなある日のこと、いつもの弁当箱に魔法瓶がついてきました。弁当箱を開けてみると、大量の麺が！　家計的にはあまりおいしくないつけ麺弁当も、僕等の猛プッシュにより夏の間だけＯＫを勝ち取ったのでした。



ホーミークイズ8

住まいは家庭生活の基盤となる大切な器です。
当社では住まいの役割を正しく理解するための「ホーミー教室」を開いております。
このコーナーで皆さんも一緒に住まいの本質を考えてみませんか？
そこで問題です!!

Q　子供室はどのような環境がよいのでしょうか？

(A)南窓で日当たりの良い明るい部屋
(B)北窓で有機質の木材を使用した落ち着いた部屋
(C)西窓で赤外線が良く入り暖かい部屋

A　正解は（B）です。

(A)の南窓は明るくて良いのですが、過剰な光は脳神経に疲労を与えるために集中力を失い、落ち着きがなくなります。
(C)の西窓は夏場は蒸し暑く神経を弛緩させ、やはり集中力を持続しにくいと言えます。子供が落ち着いて学び、物事をじっくりと考えるには、光の変化が少なく視神経への刺激も少ない北窓が向いています。
ただし、お子様の性格を考慮して明るいお部屋（AまたはC）を適用する場合もあります。